

大津市石居地区水害履歴マップ その②

(平成 29 年 10 月 12 日 石居町自治会館で行った聞き取り調査と平成 29 年 11 月 12 日 石居町自治会館で行った災害図上訓練 (DIG) における参加者の発言に基づき作成)

—平成 25 年台風 18 号 (9 月 15 日・16 日) の被害状況—

—平成 25 年台風 18 号—
【水害当日の状況】
 ・9 月 15 日 13 時～： 連続的に降雨が発生する。
 ・9 月 15 日 23 時前： 当時自治会長であった F さんに、石居 1 丁目の H さん (床上浸水被害) より、自宅が危険なため車を石居自治会館へ避難させたいという連絡があり、移動させた。同時刻に水防団の監視が警戒を行ったが、その時点では、まだ H さん宅の前の右岸堤防上道路も歩くことができた。
 ・9 月 16 日 2～3 時頃： 石居 3 丁目の四の谷川 (三面張り) が溢れ、付近を歩くことはできなかった。
 ・9 月 16 日 3 時過ぎ： F さんが自治防団に電話をし、H さん宅前に土嚢を持ってきて積んでもらった。この頃にはすでに道路が 30cm 程浸水していた。

—平成 25 年台風 18 号—
H さん宅床上浸水。

・9 月 15 日 23 時前
 当時自治会長であった F さんに、石居 1 丁目の H さん (床上浸水被害) より、自宅が危険なため車を石居自治会館へ避難させたいという連絡があり、移動させた。

・9 月 16 日 3 時過ぎ
 F さんが自治防団に電話をし、H さん宅前に土嚢を持ってきて積んでもらった。この頃にはすでに道路が 30cm 程浸水していた。

—平成 25 年台風 18 号—
 浸水自体はなかったものの、天端ぎりぎりまで水位が上がっていた。

—平成 25 年台風 18 号—
 土砂崩れによる家屋への被害はなかったが、土砂が 2.0m ほど堆積するという被害があった。次に降雨が発生すると、土砂が流れ込み通学路が埋まる可能性もある。

—平成 25 年台風 18 号—
 土木作業用の重機が流された。

—平成 25 年台風 18 号—
 K さん宅床上浸水。

—平成 25 年台風 18 号—
 工場の石垣の下まで、大戸川右岸堤防上の道路が水没した。

—平成 25 年台風 18 号—
 増水時は水が当たりやすく、大戸川左岸道路が半分崩れた。

—平成 25 年台風 18 号—
 70 cm ほど浸水し、コンパインが浸かった。

—平成 25 年台風 18 号—
 1m 以上浸水し、稲が見えなくなった。

—平成 25 年台風 18 号—
【水害対応・水防活動】
 ・被害が夜中であったことや、避難の呼びかけもなかったため、石居地区では唯一 H さんが車で自主避難を行った。
 ・隣の森 1 丁目では、避難指示が出されたため、森自治会館へ避難していた。
 ・雨が上がってから、大津市からようやく石居にも避難勧告が出された。
【水害後の動き】
 ・H さんは、この水害を契機に 1m ほどの家屋のかさ上げを実施された。
【石居地区にお住いの方の意見】
 ・石居住民の記憶している範囲では、台風 18 号が大戸川の水量が最も増えた水害であったが、水量の割には被害の少ない印象であった。
 ・石居 2 丁目の田がここまで浸水するとは、事前には想像していなかった。
 ・当時、南郷洗堰が開門して瀨田川の水位が高い時に、1 丁目・3 丁目の浸水が始まった。その後洗堰が開門されると、大戸川の水位が下がり、水がすぐに引いていった。もし洗堰が開門したままであったら、石居の被害はもっとひどかったであろうと予想される。

凡例

- 河川および水路・池
- 避難所及びランドマーク
- 浸水被害のあった家屋
- 土砂災害特別警戒区域
- 浸水範囲
- かつての被害箇所
- 水の流れる方向
- 字界